

小坂井 実 議員



地域発展のため  
近鉄佐古木駅南側の整備を

問

道路整備等について聞く。

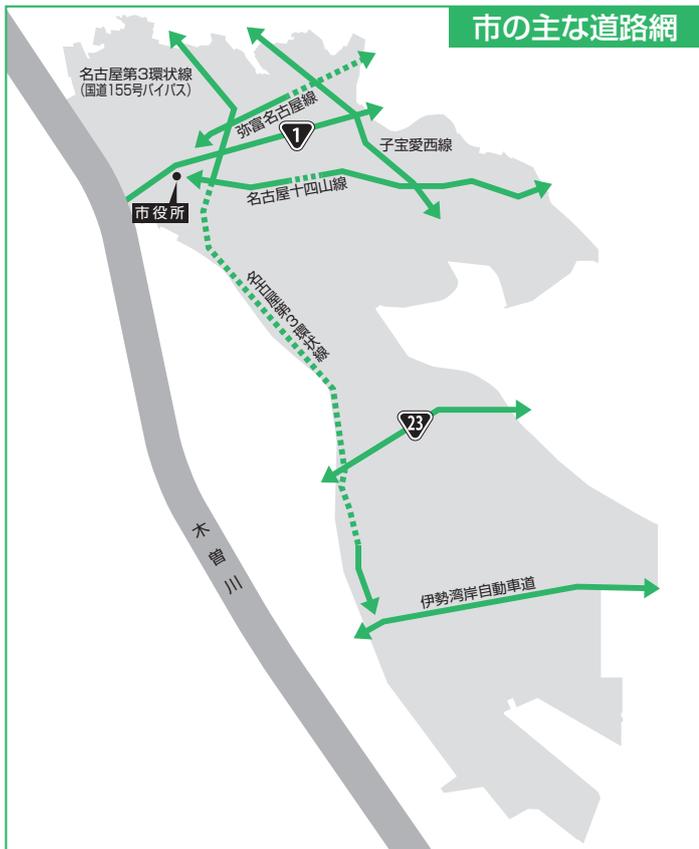
- (1) 名古屋十四山線（以下「十四山線」）は、210m（鍋平4丁目～六條町地内の未接続区間）が完成していない。現状と展望について聞く。
  - (2) 国道155号南進【II関連記事12面】の現状と、（同国道に接続する）十四山線開通時は、大型車を規制することはできるのか。
  - (3) 弥富名古屋線は、子宝愛西線までの開通を急いでほしいがどうか。
  - (4) JR弥富駅西側の踏切について、空き家を市が買い上げ、拡幅準備をしてほしいがどうか。
  - (5) 近鉄佐古木駅の発展なくって、十四山地区の発展はない。
- 駅南側の整備を進めてほしいがどうか。

利用状況を再度  
検証したい

答 土木課長

- (1) 県が整備を進めており、一部、家屋移転等が完了しているが、23年度補正予算確保が難しく、24年度より国補事業で県と協力し、早期完成を進めていく。
  - (2) （事業主体の）県より、伊勢湾岸自動車道以北の早期整備を進め、効果の高い個所から順次事業化していくと聞いている。
- 十四山線の大型車規制は、公安委員会が状況把握し、判断を行う。

市の主な道路網



- (3) 海部土地改良区会館から子宝愛西線までの400m区間は、用地が約95%取得されており、23年度買収完了を目指し、（事業主体の県が）交渉を進めている。

また、市江川に新設する

- (4) 拡幅と家屋との整合性はない。拡幅するならば別の踏切を閉めよというのが鉄

答 市長

- (5) 佐古木駅は公共バスの乗り継ぎ拠点とする計画が変更され、整備を凍結している。

答 都市計画課長

- 道業者の答えである。いわゆる危険家屋という解釈で、市が解決していく方法が望ましいと思っています。
- 今後は、駅南の利用状況等を再度検証し、駅前広場の規模等の決定に向けた作業を進めていきたい。